

# 平成28年度倉敷市児童生徒学力調査 調査結果報告書【小4】

倉敷市教育委員会 指導課

平成28年11月

# 目 次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・調査内容	1
3 倉敷市の学力の特徴	2
(1) 教科別平均正答率の比較	2
(2) 領域・観点別平均正答率の比較	3
(3) 正答率度数分布について	5
(4) 平均正答率が高い問題・低い問題	6
(5) 設問別分析（国語）	8
(6) 設問別分析（算数）	9
(7) 設問別分析の結果から	10
4 考察	11

# 平成28年度 倉敷市児童生徒学力調査について

## 1 調査目的

- 小学校第4学年全児童の学力の達成状況を把握・分析し、教育指導の成果と課題を検証・改善するとともに、児童生徒に学力の達成状況を知らせ、児童生徒自らの学習等の改善に資する。
- 本調査と全国及び岡山県学力・学習状況調査を併せて活用することで、小学校4年生から中学校3年生まで、個人の学力の達成状況を継続して学校が把握し、児童生徒一人一人の指導に生かす。

## 2 調査対象者・実施日・調査内容

### (1) 調査対象者

市立小学校63校 第4学年児童（国語）4,488人  
（算数）4,489人

### (2) 実施日 平成28年6月30日（木）～7月6日（水）

### (3) 調査内容

教科に関する調査（国語及び算数）

### (4) その他

- ・「全国平均」は、約350自治体で受検した小学生約15万人平均正答率。（10歳人口は約110万人のため、全児童数の約14%）
- ・正答率の差については、小数第2位以降の数値も反映されていることから、0.1ポイントの差異が生じている場合がある。

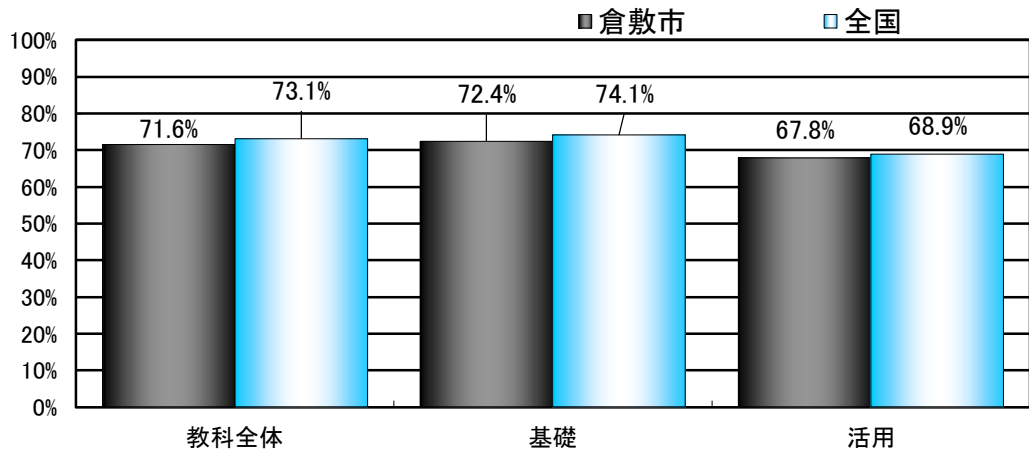
### 3 倉敷市の学力の特徴

#### (1) 教科別平均正答率の比較

##### 【国語】

[%]

	教科全体	基礎	活用
倉敷市	71.6	72.4	67.8
全国	73.1	74.1	68.9
全国平均との差	-1.6	-1.7	-1.1

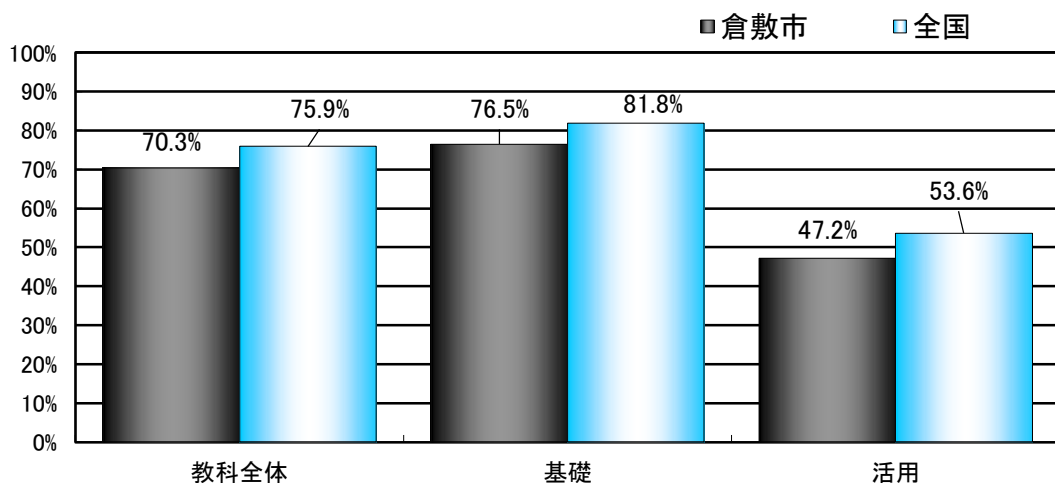


○全国平均との差の比較では、教科全体では-1.6ポイント、基礎では-1.7ポイント、活用では-1.1ポイントとすべてにおいて下回っている。

##### 【算数】

[%]

	教科全体	基礎	活用
倉敷市	70.3	76.5	47.2
全国	75.9	81.8	53.6
全国平均との差	-5.6	-5.4	-6.4



○全国平均との差の比較では、教科全体では-5.6ポイント、基礎では-5.4ポイント、活用では-6.4ポイントとすべてにおいて下回っている。算数は、国語と比べて全国平均との差が大きい。

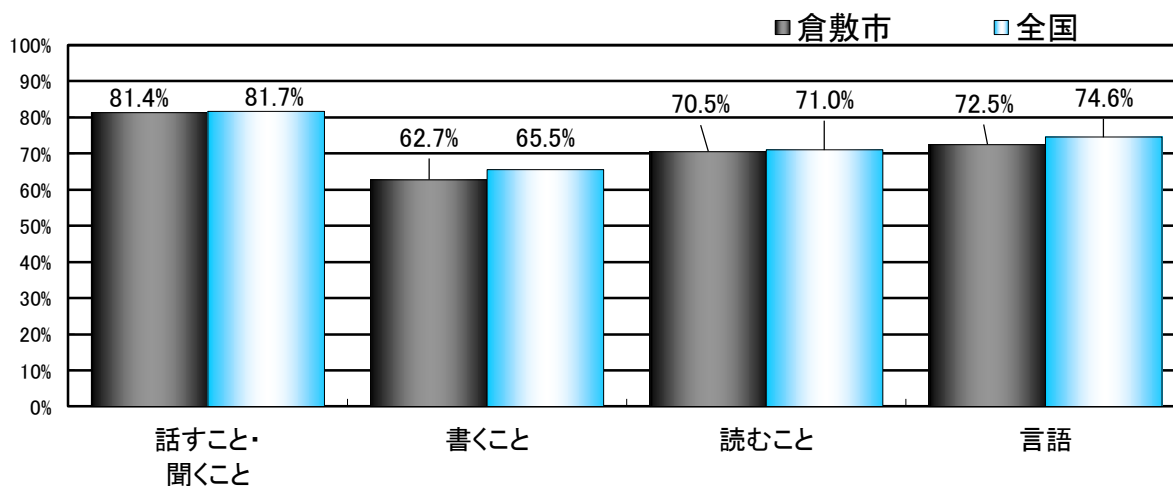
## (2) 領域別・観点別平均正答率の比較

### ①国語

#### 【領域】

[%]

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語
倉敷市	81.4	62.7	70.5	72.5
全国	81.7	65.5	71.0	74.6
全国平均との差	-0.3	-2.7	-0.5	-2.0



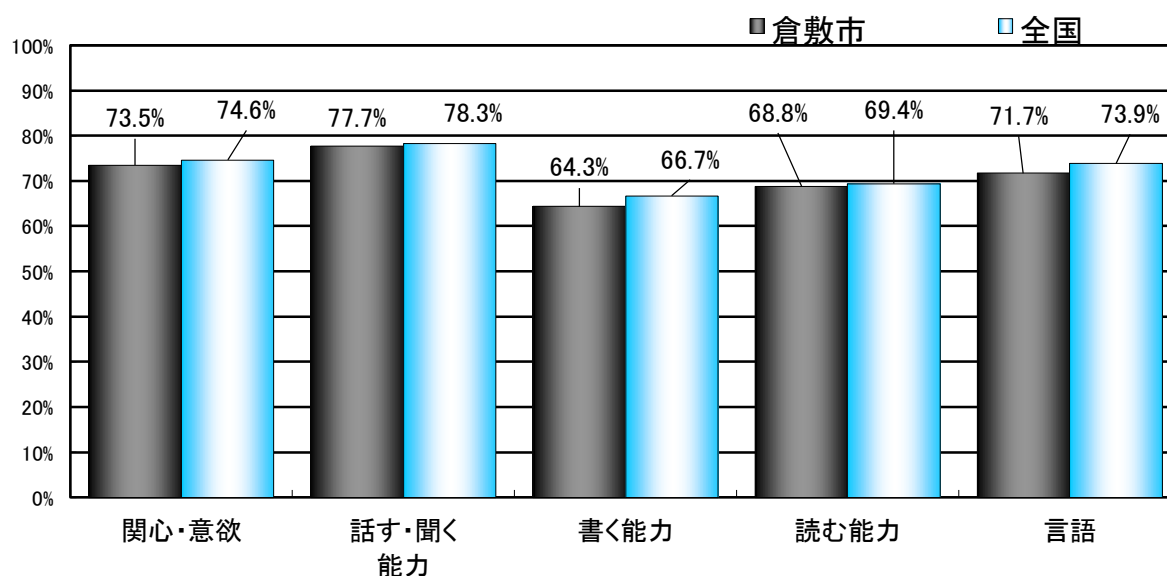
○すべての領域で全国平均を下回っている。

○「書くこと」と「言語」については、全国平均との差が大きい、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」については、全国平均との差はわずかである。

#### 【観点】

[%]

	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語
倉敷市	73.5	77.7	64.3	68.8	71.7
全国	74.6	78.3	66.7	69.4	73.9
全国平均との差	-1.2	-0.6	-2.4	-0.6	-2.2



○すべての観点で全国平均を下回っている。

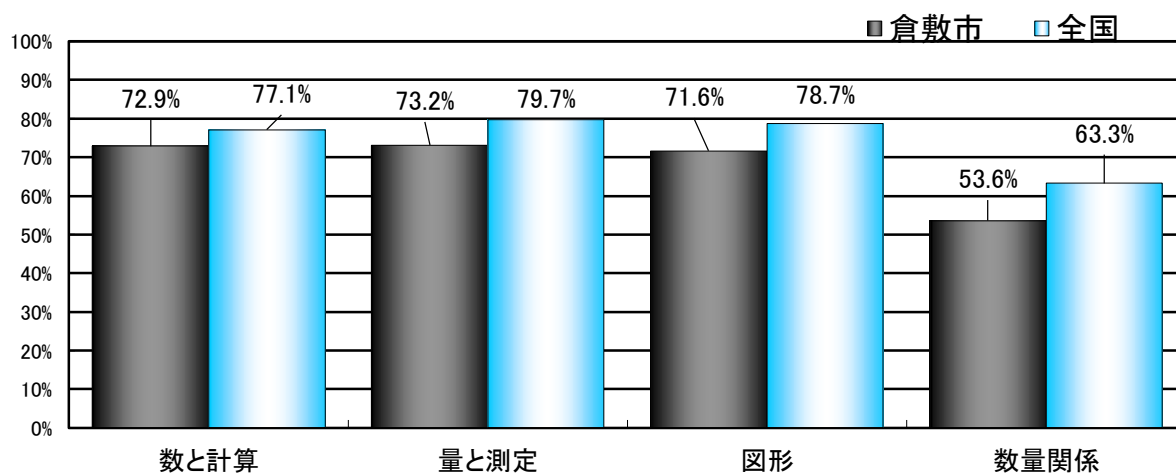
○「書く能力」と「言語」については、全国平均との差が大きい、「話す・聞く能力」「読む能力」については、全国平均との差はわずかである。

## ②算数

### 【領域】

[%]

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
倉敷市	72.9	73.2	71.6	53.6
全国	77.1	79.7	78.7	63.3
全国平均との差	-4.2	-6.6	-7.1	-9.6

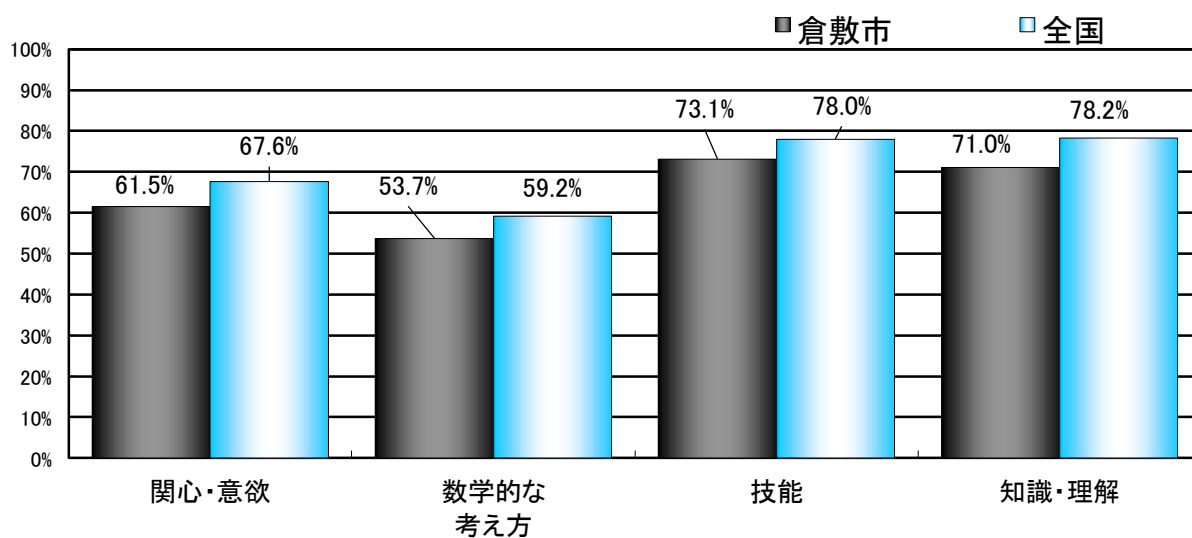


○すべての領域において、全国平均を下回っている。特に、小学校5年生同様「図形」と「数量関係」において、全国平均との差が大きい。

### 【観点】

[%]

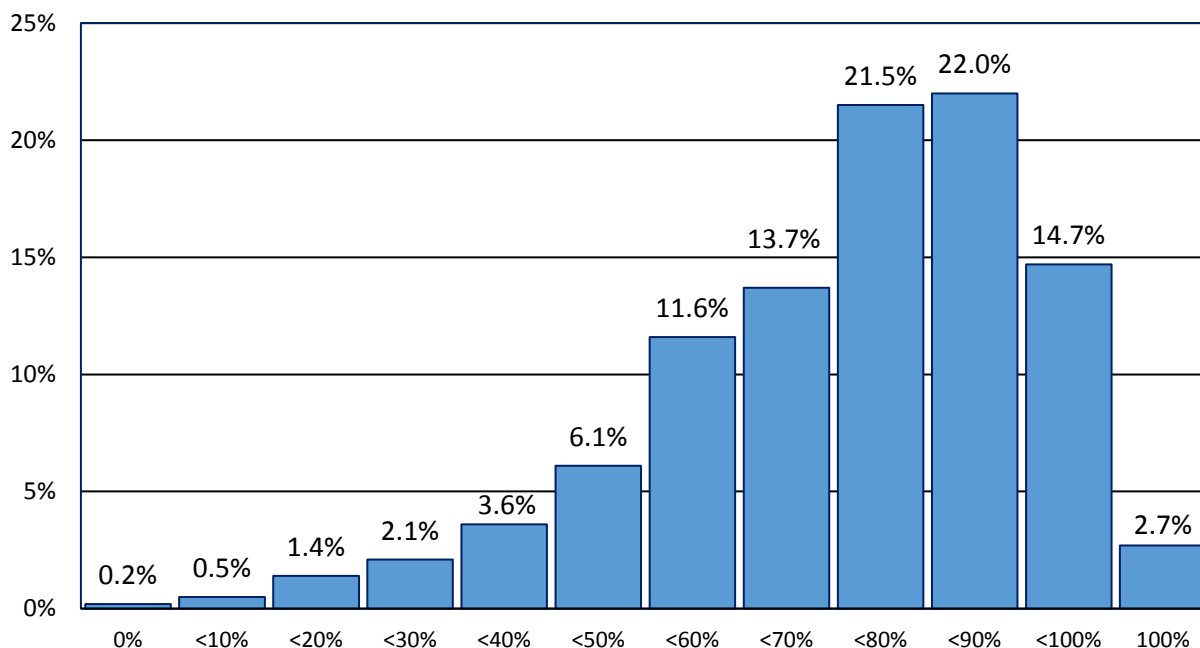
	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
倉敷市	61.5	53.7	73.1	71.0
全国	67.6	59.2	78.0	78.2
全国平均との差	-6.1	-5.5	-4.9	-7.2



○すべての観点において、全国平均を下回っている。特に、小学校5年生同様「数量や図形についての知識・理解」において、全国平均との差が大きい。

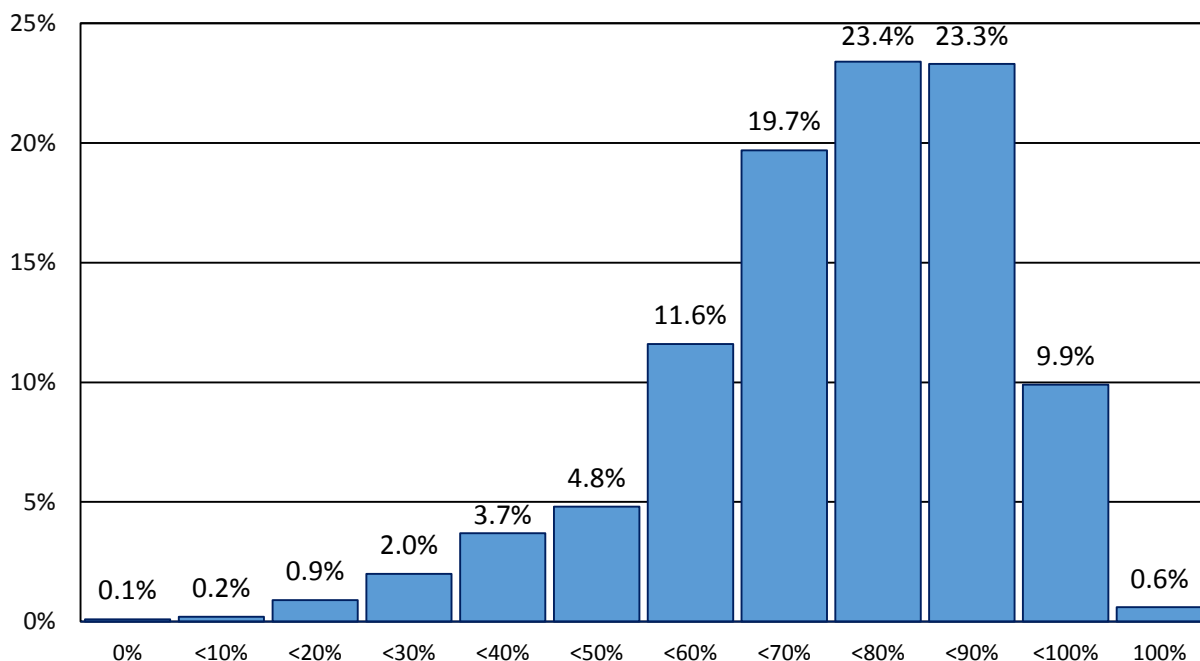
### (3) 正答率度数分布について

#### 【国語】



○全国平均（73.1%）を上回る正答数の分布層が最も高く、全国平均値より高い位置を頂点とする山型分布となっているものの、50%に満たない層の合計が約14%（約600人）おり、学力の定着が十分でない層の改善が求められる。

#### 【算数】



○全国平均値（75.9%）が含まれる、70%以上80%未満の層が最も高く、この層を頂点とした山型の分布になっている。また、50%に満たない層の合計が約12%（約530人）となっており、国語と比べれば少ない。

#### (4) 平均正答率が高い問題・低い問題

##### ◆平均正答率が高い問題(高い方から3問)

###### 国語

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
1	(1)		話し合いの内容を聞き取る	大事なことを落とさないように聞き取ることができる。	95.4	96.5	-1.1
2	(1)	③	漢字を読む	第3学年配当漢字を読むことができる。	94.9	95.9	-1.0
2	(1)	②	漢字を読む	第3学年配当漢字を読むことができる。	94.8	94.9	-0.1

###### 算数

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
1	(4)		計算の復習	9の段の九九ができる。	97.0	97.6	-0.6
1	(10)		大きい数・小数・分数	同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。	94.1	96.5	-2.4
1	(7)		割り算	2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	93.2	95.6	-2.4

##### ◆平均正答率が低い問題(低い方から3問)

###### 国語

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
3	(2)		言葉の学習	ローマ字のつづりを理解している。	45.7	52.3	-6.6
6	(2)		メモをもとに発表原稿を書く	与えられた情報を読み取り、不足している説明の文章を書くことができる。	47.9	50.7	-2.8
3	(3)	①	言葉の学習	国語辞典の使い方を理解している。	50.8	54.1	-3.3

###### 算数

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
17	(1)		掛け算	乗法を用いて全巻の幅を求め、棚に入らない理由を説明することができる。	26.7	27.5	-0.8
18	(2)		棒グラフと表	棒グラフを読み取り、ある項目の数が他の項目の何倍になっているかを求めることができる。	27.9	39.7	-11.8
4			大きい数・小数・分数	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	36.5	54.5	-18.0



◆平均正答率が全国平均を上回っている主な問題

国語

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
5	(2)		説明文の内容を読み取る	段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	62.1	60.2	+1.9
1	(3)		話し合いの内容を聞き取る	話題に沿った意見と理由を考えて話すことができる。	80.2	78.8	+1.4
2	(2)	①	漢字を書く	第3学年配当漢字(住所)を書くことができる。	68.0	66.9	+1.1
2	(2)	④	漢字を書く	第3学年配当漢字(植える)を書くことができる。	75.5	74.5	+1.0

算数

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
15			掛け算	400×9の計算の仕方を説明することができる。	54.4	46.4	+8.0
7	(2)		割り算	除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	85.9	85.6	+0.3

◆平均正答率が全国平均を下回っている主な問題

国語

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
2	(2)	③	漢字を書く	第3学年配当漢字(息)を書くことができる。	75.3	82.1	-6.8
3	(2)		言葉の学習	ローマ字のつづりを理解している。	45.7	52.3	-6.6
7			作文	2段落構成で文章を書くことができる。	51.6	57.1	-5.5

算数

大問番号	中間番号	小問番号	問題の内容	出題のねらい	倉敷市	全国	差
8	(2)		□を使った式	□を使って、減法の式に表すことができる。	42.5	68.6	-26.1
11	(1)		長さ・重さ	道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	47.5	66.3	-18.8
4			大きい数・小数	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	36.5	54.5	-18.0
11	(2)		長さ・重さ	地図から2つの道のりを読み取り、その合計の長さの大小を比較できる。	48.3	64.7	-16.4
13	(1)		円と球・三角形	円の半径について理解している。	59.7	74.3	-14.6
18	(2)		棒グラフと表	棒グラフを読み取り、ある項目の数が他の項目の何倍になっているかを求めることができる。	27.9	39.7	-11.8
1	(9)		大きい数・小数・分数	整数－小数第一位の計算ができる。	64.9	75.8	-10.9

(5) 設問別分析 (国語)

通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	解答形式	観点					活用観点	問題の内容	領域	出題のねらい	小学校学習指導要領	倉敷市		全国	
					関	話	書	読	言						正答率	無解答率	正答率	差
1	1	(1)	選択	○	◎						話し合いの内容を聞き取る	話すこと・聞くこと	大きなことを落とさないように聞き取ることができる。	3・4年A(1)エ	95.4	0.6	96.5	-1.1
2		(2)	選択	○	◎										81.4	0.6	82.8	-1.4
3		(3)	記述	○	◎	○				表							話題に沿った意見と理由を考えて話すことができる。	3・4年A(1)イ・エ・オ
4	2	(1)	① 短答						◎	漢字を読む	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第3学年配当漢字を読むことができる。	3・4年伝国(1)ウ(イ)	89.5	3.3	90.8	-1.3	
5			② 短答						◎					94.8	2.0	94.9	-0.1	
6			③ 短答						◎					94.9	1.6	95.9	-1.0	
7			④ 短答						◎					83.3	3.9	83.5	-0.2	
8		(2)	① 短答						◎	漢字を書く	第3学年配当漢字を書くことができる。	68.0	8.5	66.9	1.1			
9			② 短答						◎			67.8	6.0	70.9	-3.1			
10			③ 短答						◎			75.3	6.9	82.1	-6.8			
11	④ 短答							◎	75.5			6.5	74.5	1.0				
12	3	(1)	選択					◎	言葉の学習	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	文の構成(主語と述語)について理解している。	1・2年伝国(1)イ(カ)	56.1	2.8	57.6	-1.5		
13		(2)	選択					◎			ローマ字のつづりを理解している。	3・4年伝国(1)ウ(ア)	45.7	2.8	52.3	-6.6		
14		(3)	① 選択								◎	国語辞典の使い方を理解している。	3・4年伝国(1)イ(カ)	50.8	2.9	54.1	-3.3	
15			② 選択								◎	思	68.4	2.9	71.2	-2.8		
16	4	(1)	選択					◎	物語の内容を読み取る	読むこと	登場人物の気持ちを読み取ることができる。	3・4年C(1)ウ	71.3	1.5	72.2	-0.9		
17		(2)	選択					◎			登場人物の様子を読み取ることができる。		59.8	1.6	61.5	-1.7		
18		(3)	選択					◎			思		目的や必要に応じて、場面の様子や登場人物の気持ちを読み取ることができる。	74.1	2.1	75.3	-1.2	
19	5	(1)	選択					◎	説明文の内容を読み取る	読むこと	文章の内容を的確に読み取ることができる。	3・4年C(1)イ	85.6	1.9	86.2	-0.6		
20		(2)	選択					◎			段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。		62.1	3.1	60.2	1.9		
21		(3)	選択					◎			文章の内容を的確に読み取ることができる。		70.3	2.8	70.7	-0.4		
22	6	(1)	選択	○	◎	○			思	メモをもとに発表原稿を書く	話すこと・書くこと	与えられた情報を読み取り、発表をする際に用いる適切な資料(絵)を理解することができる。	3・4年A(1)イ	68.4	3.9	68.7	-0.3	
23		(2)	記述	○	○	◎	○		表			与えられた情報を読み取り、不足している説明の文章を書くことができる。	3・4年B(1)ウ	47.9	12.6	50.7	-2.8	
24	7		記述	○	◎				作文	書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	3・4年B(1)ア	61.0	15.5	62.6	-1.6		
25			記述		◎		○				2段落構成で文章を書くことができる。	3・4年B(1)イ	51.6	15.5	57.1	-5.5		
26			記述	○	◎						書くこととするの中心を明確にして書くことができる。	3・4年B(1)ウ	79.3	15.5	81.4	-2.1		
27			記述	○	◎						書くこととするの理由を挙げて書くことができる。	73.9	15.5	75.6	-1.7			

【観点について】 ◎が主たる観点、○が従たる観点を表しています。観点の表記の意味は右記の通りです。(関)国語への関心・意欲・態度、(話)話す・聞く能力、(書)書く能力、(読)読む能力、(言)言語についての知識・理解・技能

【活用観点について】 活用観点を表記の意味は、右記の通りです。(思)思考・判断力、(表)表現力

(6) 設問別分析 (算数)

通し番号	大問番号	中間番号	解答形式	観点				活用観点	問題の内容	領域	出題のねらい	小学校学習指導要領	倉敷市		全国	
				関	考	技	知						正答率	無解答率	正答率	差
1		(1)	短答			◎		計算の復習	数と計算	2けた+2けた=3けた(波及的繰り上がりあり)の計算ができる。	2年A(2)ア	91.4	0.3	93.9	-2.5	
2		(2)	短答			◎		足し算・引き算		3けた+3けた=4けた(繰り上がり3回)の計算ができる。	3年A(2)イ	83.4	0.5	88.3	-4.9	
3		(3)	短答			◎				4けた-3けた=4けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。		63.7	1.1	71.6	-7.9	
4		(4)	短答			◎		計算の復習		9の段の九九ができる。	2年A(3)ウ	97.0	0.4	97.6	-0.6	
5	1	(5)	短答			◎		掛け算		2けた×1けた=3けたの計算ができる。	3年A(3)イ	77.6	1.3	82.6	-5.0	
6		(6)	短答			◎				2けた×2けた=4けたの計算ができる。		68.0	2.0	75.2	-7.2	
7		(7)	短答			◎		割り算		2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	3年A(4)ウ	93.2	1.3	95.6	-2.4	
8	(8)	短答			◎		2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。			86.3		1.9	89.2	-2.9		
9		(9)	短答			◎		大きい数・小数・分数		整数-小数第一位の計算ができる。	3年A(5)イ	64.9	3.3	75.8	-10.9	
10	(10)	短答			◎		同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。			3年A(6)ウ	94.1	1.0	96.5	-2.4		
11	2	(1)	選択			○◎		大きい数・小数・分数	数と計算	位取り記数法を理解し、100万、1万、100、1の個数から、その数を表すことができる。	3年A(1)ア	87.1	0.6	88.1	-1.0	
12		(2)	選択			○◎				数の相対的な大きさについて理解している。	3年A(1)ア, ウ	63.1	0.7	69.0	-5.9	
13	3	(1)	選択			○◎		大きい数・小数・分数	数と計算	小数のしくみを理解している。	3年A(5)ア	89.4	0.7	95.1	-5.7	
14		(2)	選択			○◎				数の相対的な大きさについて理解している。		88.5	0.8	93.1	-4.6	
15	4		選択			◎		大きい数・小数・分数	数と計算	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	3年A(6)ア	36.5	1.6	54.5	-18.0	
16	5		選択			◎		大きい数・小数・分数	数と計算	分子が1の分数が何個で1になるかを理解している。	3年A(6)イ	78.8	1.0	83.9	-5.1	
17	6		短答			○◎		掛け算	数と計算	乗数や被乗数が0のときの計算について理解している。	3年A(3)イ	78.5	1.4	80.6	-2.1	
18	7	(1)	短答	◎	○			割り算	数と計算	文章問題を解くための除法の立式ができる。	3年A(4)ア	69.9	3.7	70.9	-1.0	
19		(2)	短答			◎				除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	3年A(4)ア, ウ	85.9	3.4	85.6	0.3	
20	8	(1)	選択	◎		○	思	□を使った式	数量関係	□を使った文章問題(減法逆の減法の場面)を表した図を理解している。	3年D(2)ア, イ	87.0	2.3	89.0	-2.0	
21		(2)	短答	◎	○		思			□を使って、減法の式に表すことができる。	3年D(2)イ	42.5	5.4	68.6	-26.1	
22	9		選択	◎			思	□を使った式	数量関係	□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	3年D(2)イ	41.1	2.6	45.9	-4.8	
23	10	(1)	選択	○	◎	○		時刻と時間	量と測定	ある時刻から一定時間が経過した後の時刻を求めることができる。	3年B(3)イ	86.9	1.9	88.4	-1.5	
24		(2)	選択	○	◎	○				2つの時刻を比較して、その間の時間を求めることができる。		85.5	2.0	86.6	-1.1	
25		(3)	選択			◎				時間の単位の関係を理解し、秒を分に直すことができる。		3年B(3)ア	81.4	2.0	84.6	-3.2
26	11	(1)	選択	○	○	◎		長さ・重さ	量と測定	道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	3年B(1)ア	47.5	2.8	66.3	-18.8	
27		(2)	選択	○	○	◎				地図から2つの道のりを読み取り、その合計の長さの大小を比較できる。		48.3	3.5	64.7	-16.4	
28	12	(1)	選択			◎		長さ・重さ	量と測定	はかりの目盛りの読み方を理解している。	3年B(1)イ	79.8	2.8	83.5	-3.7	
29		(2)	選択	○		◎				身近にあるものの重さを推察して、適切な単位を使うことができる。		82.6	3.1	84.0	-1.4	
30	13	(1)	選択			◎		円と球・三角形	図形	円の半径について理解している。	3年C(1)ウ	59.7	3.4	74.3	-14.6	
31		(2)	選択	◎	○					球の直径から、球が4個入った箱の辺の長さを求めることができる。		72.3	3.7	77.9	-5.6	
32	14		短答			◎		円と球・三角形	図形	二等辺三角形を作図することができる。	3年C(1)ア	82.9	4.3	83.9	-1.0	
33	15		短答	◎	○		思	掛け算	数と計算	400×9の計算のしかたを説明することができる。	3年A(3)ウ	54.4	6.6	46.4	8.0	
34	16		記述	◎	○		表	割り算	数と計算	余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明できる。	3年A(4)ア, ウ	52.8	13.7	61.4	-8.6	
35	17	(1)	記述	○◎	○		表	掛け算	数と計算	乘法を用いて全巻の幅を求め、欄に入らない理由を説明することができる。	3年A(3)イ	26.7	27.0	27.5	-0.8	
36		(2)	選択	○	○	◎	思	割り算		情報を読み取り、減法と除法を適用して正しい答えを求めることができる。		3年A(4)ア, ウ	45.1	23.0	50.5	-5.4
37	18	(1)	短答	○		◎		棒グラフと表	数量関係	指定された時間の棒グラフをかくことができる。	3年D(3)ア	69.6	26.9	73.1	-3.5	
38		(2)	短答	○	◎	○	思			棒グラフを読み取り、ある項目の数がほかの項目の何倍になっているかを求めることができる。		27.9	23.3	39.7	-11.8	

【観点について】◎が主たる観点、○が従たる観点を表しています。観点の表記の意味は右記の通りです。(関)算数への関心・意欲・態度、(考)数学的な考え方、(技)数量や図形についての技能、(知)数量や図形についての知識・理解

【活用観点について】活用観点の表記の意味は、右記の通りです。(思)思考・判断力、(表)表現力

## (7) 設問別分析の結果から【○成果 ●課題】

### ◆国語について

- 全国平均を上回っている問題のうち、その差が最も大きかったのは、接続詞「ところで」に着目して段落の役割をとらえる問題[5(2)]であった。
- 漢字の書き「住所」「植える」の問題[2(2)]については、全国平均を上回っていた。また、漢字の読み[2(1)]については、概ね正答率が9割を上回っている。
- 話し合いの内容の聞き取り[1(1)(2)(3)]については、正答率がすべて8割を上回っている。特に、[1(1)]については、95.4ポイントと高い正答率になっており、大切なことを落とさないように聞き取ることができている。
- ローマ字のつづりを理解する問題[3(2)]については、すべての問題の中で最も全国平均との差が大きく、-6.6ポイントとなっている。
- 書くことの問題[7]では、四つの条件すべてにおいて全国平均を下回っている。特に、二つの段落に分けて書く問題が全国平均に比べて5.5ポイント下回っている。無解答率も15.5ポイントとすべての問題の中で最も高くなっている。段落の意味を把握していない児童が多く見られることが課題として考えられる。

### ◆算数について

- かけ算の計算  $400 \times 9$ [15]の仕方を説明する問題については、問題文に沿って□にあてはまる数字を適切に書くことができた。この問題は全国平均を8.0ポイント上回っており、すべての問題の中で最も全国平均より市の正答率が高い問題となっている。
- わり算の除法（余りあり）を適用して文章問題の正しい答えを求める問題[7(2)]については、正答率が全国平均を上回っている。
- を使って、減法の式に表す問題[8(2)]については、すべての問題の中で最も全国平均との差が大きく、-26.1ポイントとなっている。無解答率も5.4ポイントと高い数値となっている。
- 道のりに関する問題[11(1)(2)]については、正答に関係ない情報（直線距離）を選択した誤答が多く見られた。道のりの意味をもう一度確認することが大切である。
- 円の半径を求める問題では、円の直径を求めるという誤答が、34.1ポイントあった。図形の用語をよりきめ細やかに指導するするとともに、児童は授業や家庭学習等を通して何度も問題を解き、確実に理解することが大切である。

## 4 考 察

### 【国語】

- ◇漢字を読む問題については、正答率が9割以上のものが多い。また、漢字を書く問題についても、全国平均を上回っているものもあり、繰り返しの練習により、力がついている部分が見られる。
- ◇聞き取り問題についても、正答率が8割を上回るものが多く、大事なことを落とさないように聞き取ることができている。
- ◇小学校5年生と同様、「書くこと」の領域に課題があることが明らかになった。特に、段落構成の条件で設定された文章を書くことにおける本市の平均正答率は、全国の平均正答率を5ポイント以上下回っている。段落について繰り返し丁寧に説明するとともに、段落に分けて文を書くことの良さを実感できるよう、段落を意識して書く活動を授業中に設定することが必要である。

### 【算数】

- ◇短答式の問題については、正答率が高い。ワークシート等を活用して行う学習が役立っているものと思われる。
- ◇九九や分数等の計算問題については、概ね正答率が高く、日頃の定着に向けた取組の成果が見られる。今後も、基礎問題の理解の徹底に努めなければならない。授業はもちろん家庭学習、朝学習等の質及び量を確保していくことが大切である。
- ◇小学5年と同様、「数量関係」の棒グラフ、数直線を読み取る問題に課題が見られることから、今後、グラフや数直線と数値を変換する活動や、グラフや数直線を使って説明する活動を増やすことが必要であると考えられる。また、次年度に「数量関係」の学習に入る前に既習事項を復習する等、学び直しの実施も必要だと考えられる。

### 【全体を通して】

- ◇今回の調査は、本市において小学校4年生が初めて取り組んだ調査であった。小学校の前半の3年生までに身につけた学力の一端を検証できたという面で意義があったと思われる。そして、今回、明らかになった課題は早急に解決に向けて取り組まないといけない。まず、計算等の基礎基本を反復・徹底しなければ、その後の学習でも躓きが予想されるので、今まで以上に低学年のうちからの基礎・基本の徹底に取り組みたい。
- ◇他の学年と同様、記述を求める問題形式の正答率が全体的に低く、文章の中から根拠を見つけたり構成を読み取ったりする力の育成が必要である。そのために、家庭や学習での読書をする機会の充実を図りたい。
- ◇本年度は市の学力調査を始めて2年目となる。昨年度までの小学校5年生と中学校2年生に加えて、今回4年生の調査も実施した。本調査結果と全国及び岡山県学力・学習状況調査それぞれの結果を併せて活用することで、小学校4年生から中学校3年生まで、個人の学力の達成状況及び学年全体の状況を継続して把握することが可能となり、児童生徒一人一人の指導に生かすとともに、授業改善に活用することができると思う。